

【2022 年度 助成団体一覧】

高額(3 団体)

団体名	主な活動地	活動概要
NPO 法人 北海道自伐型林業推進協議会	白老町	道内の自伐型林業を目指す個人・団体に呼びかけ、技術や副業としての森業開発を研修等により共有化・ネットワーク化し、道内最大の資源である森林を活用した就業拡大を目指すと共に持続可能な森づくりの担い手を育成する。

小額(22 団体)

団体名	主な活動地	活動概要
旭山自然調査隊	札幌市	自然環境を測定する目安となる指標昆虫であるオオムラサキなどを保護・観察することで、生き物のつながりを知り、生き物の貴重な繁殖地を将来的に保護する活動を行います。水辺の環境や在来の樹林を保全することにより、生物を守ります。
盤溪癒しの里山づくりプロジェクト委員会	札幌市	森林所有者である知的障がい者の生活等支援団体、社会福祉法人札幌この実会の施設利用者と地域住民とのふれあいの機会を得るための森づくりを進め、地域の環境保全に寄与することを目標にしています。
北海道グッド・トイ委員会	札幌市	北海道において、良質なおもちゃと豊かな遊びを通じて、地域社会の活性化と乳幼児から高齢者までの多世代間の交流に寄与するとともに、会員相互の連絡協調を図ることで、会員の資質向上に努めることを目的とする。
熊の沢公園の自然と親しむ会	札幌市	従来 of 樹木板の交換や、地域住民、小学生自然観察会等にこの公園の成り立ちの説明草本木類等の説明を行っており、この公園の動植物の自然環境の保護の啓蒙活動を行っている。さらに、土木センターの指導の元で、この数年、公園の樹木の剪定、池の水芭蕉周辺の外来種等の抜き取り、ヒョウタン池の菖蒲の手入れ等に会員の協力を得て、多種多様な活動を行っております。
いしかり森林ボランティア「クマゲラ」	石狩市	森林の保全活動及び普及啓発活動を行うことで、自然環境の向上に寄与する。石狩市厚田区小谷「(仮称) あつたふるさとの森」内にある「千年の森」約 6.5ha など市有林等への植樹、保全等維持管理。市民に植樹用種子を自宅等で育ててもらい、それを森に植樹する「キノシュ木育里親運動」を展開。市民に森と親しんでもらうための「春の森を歩こう」「秋の森を歩こう」の実施。市内小学校において「森林総合学習」を指導。
特定非営利活動法人 里見緑地を守る会・どんぐり	北広島市	里見緑地の環境整備・保全と「さんぼまち北広島団地」の地域活性化に寄与する。里見町7丁目地先の里見緑地への植樹。緑地内の育樹地、広場、遊歩道・作業用通路等の草刈り。遊歩道に枝・根粉碎パークの敷均し。木製工作物の設置、補修。

当別森林ボランティア 「シラカンバ」	当別町	当別町在所の森林地を拠点に森林保全や自然環境保全等の森づくりに取り組む。活動を通じて仲間と協力しあい、自然との共生や森を守る知識や技術を学ぶ。
河川愛護団体 リバーネット 21 ながめま	長沼町	これまで幾度も水害に見舞われた長沼町の歴史を学び、水害防止と地球温暖化防止に資する「小鳥のさえずりが聞こえる河畔林づくり」に取り組みます。地元の馬追山で種を採り、種を播き、木を育て、植樹、経過観察を毎年継続しています。また、地元の子供たちを対象に、風倒木や枯れ枝、間伐材等を使った木育教室を開催しています。保水力実験のジオラマを作り、森林が緑のダムとなり洪水や土砂崩れを防ぐ役割を学びます。
NPO 法人 三笠森水遊学舎	三笠市	地球温暖化の防止、自然環境の保全にも微力ながら貢献しつつ、また将来を担う子供達や地域の人々とともに、われわれ会員が身近な川や森の自然に親しみ、遊び、学び、自然を愛する心をより膨らませるよう活動を広げていきたいと思えます。
フォレストクリエイティブ (TACK)	当麻町	北海道の自然環境を大切に、障がいを持った方や一般の方と森づくり、自然体験活動を積極的に親しみ、後世に持続可能な環境を残していく。当麻町を拠点に道北近郊の身近なフィールドで、主に知的障がいを持った方を対象にそれぞれのニーズに合わせた自然体験活動、プログラムを行っている。
滝川緑の少年団	滝川市	緑に親しみ、緑を愛し、これを育てつつ健全な心身を養い、互いに力を合わせて社会のために役立つ自主的な活動することを目的としている。森の生態を学ぶ。枝払いなどをとおして、育樹体験を行う。樹票づくりと設置をとおして樹木の特徴を知る。森林散策などをとおして、緑を愛する心を醸成する。
NPO法人 長万部町緑と 樹を愛する会	長万部町	森林保全と緑化及び雇用促進、福祉の増進に関する事業を行い、地域の環境保全とまちづくりに寄与する。地元の裸山を再生し、手入れの行き届いた山林を残すため取得した山林への、植樹活動による緑の山づくり。国道37号線沿いのスズランやエゾカンゾウ群落保護のための笹刈り。写万部山登山道の維持管理。蝦夷山桜を町民と植樹する植樹祭の実施。間伐材の有効利用として、燃料用薪やきのこホダ木の斡旋提供。
南かやべ森と海の会	函館市	当会では、森林が持っている多様な機能が地域住民に理解されることに基づき、川汲川、大舟川流域の森林等の整備・保全および川汲川、大舟川の河川環境の保全を推進するため、南茅部地域内で植樹活動を行っています。
地球岬街道夢の森づくり	室蘭市	地球岬及びその周辺の緑豊かな環境づくりと保全に寄与するため、遊休地などへの緑化事業を推進することを目的として地球岬街道の景観形成及び環境整備事業を行う。
自然愛好グループ ヨシキリの会	登別市	身近な自然に親しみ、大切にしていこうを合い言葉に、四季を通じた自然体験と一般市民向けの自然観察会や啓蒙活動を行っている。これまで、白老町のつれづれの森ではエンレイソウやギボウシ、エゾカンゾウなどの野草やミズナラなどの幼木を

		大切に育ててきました。2018年には電気柵を整備したものの、近年は電気柵を恐れない多数のエゾシカが侵入して貴重な野草や幼木が食べられ、さらに最近は樹皮も食べられ始めました。貴重な植物をエゾシカの食害から守るために、森の周囲を網で囲いたいと思います。
NPO 法人 トラストサルン釧路	釧路市	保護されずに開発が続く釧路湿原や水源の丘陵地帯の保護を目指して、市民の自発的意思に基づく拠出金で土地を購入または寄贈を受け管理する。生態系の破壊が進む丘陵地では自然林の再生を行い湿原の水源地としての保全を進める。釧路湿原の自然環境と生態系を保全するために流域内に自然保護地をつくり、生態系の維持と回復、調査研究、普及啓発、提言活動を行っている。
NPO 法人 霧多布湿原 ナショナルトラスト	浜中町	霧多布湿原のおよそ3分の1(約1,200㌔)は民有地であり、開発されやすい状況であったことから、霧多布湿原ナショナルトラストは、民有地を買い取り保全する「ナショナルトラスト運動」に取り組んでいる。2020年9月までに霧多布湿原と浜中町の湿原景観協定地を含めて1060㌔を保全することができた。また、この豊かな自然を未来の子供たちへ引き継いでいくため、霧多布湿原の「ファン」を増やす活動に力を入れている。
釧路武佐の森の会	釧路市	釧路市民を対象に、森を中心とした自然の大切さを訴え、森を守るころを養うことを目的とする。このために、ボランティア、観察会講演会を行っている。
森林ボランティア 「オホーツクの会」	北見市	森林ボランティア活動を通じて、森林の中で自然と親しみ・森林に学び・森林の持つ公益的機能の増進を図ると共に森林・林業に対する自らの意識を高め、共感する人の輪を広げる。
帯広の森サポーターの会	帯広市	市民による植樹後、20年以上殆ど管理されてこなかった人口森の林床整備や育樹作業を行い、自然豊かな郷土の森を育て後世に残す活動を行っている。
NPO 法人 子どもと文化の ひろば ふれいおん・とかち	帯広市	十勝の子どもと大人に対し、舞台芸術鑑賞や自然の中でのあそびや生活文化体験などの機会を創出し、異年齢・多世代での活動を通じて、豊かな子どもの世界、子どもの育ちを見守る地域社会づくりをめざしている。
minotake forest works	池田町	地域共同による森林・山林の多面的機能の発揮のための活動を通じ、地域の活性化を図ることを目的とする。構成員が中心となり、風倒木の除去や劣勢木間伐を行うことで景観を向上させる。併せて森林の空間的な利用を推進する。さらに多面的機能の十分な発揮を前提とした適切な作業道の敷設により、環境保全および森林資源の活用が速やかに実行できる山林を目指す。